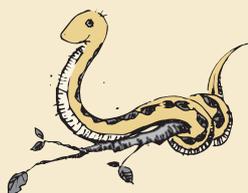


# ございます



## 新年のご挨拶

滑川町長 吉田 昇

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ロンドンオリンピックで日本人選手団が史上最多となる38個のメダルを獲得し、多くの国民が歓喜に湧きました。一方で東日本大震災は、国民生活および国内経済に大きな影響を及ぼすとともに、地域防災力に対する不安や関心、さらに原子力発電に依存しない再生可能自然エネルギーの必要性など、自治体に対する安全対策に大きな課題を残しています。わが国の景気も上向き傾向を見せていましたが、長引く円高やギリシャの財政破綻によるヨーロッパ経済の信用不安などから、日本経済は先行き不透明な状況が続いています。

滑川町におきましては、依然厳しい財政状況の中、「創意工夫」・「選択と集中」により攻めの行政運営を進めて参りました。

北関東4県（埼玉、栃木、群馬、茨城）の市町村を対象にした成長力調査で、滑川町は堂々のトップ評価を受けました。東武東上線つきのわ駅周辺の開発が進み、人口と地域経済がともに伸びている点が高得点につながったものです。これは、福祉や健康をもとに考え、さらに都市基盤を整備した心豊かな文化の香り高い住民参加のまちづくりを目指した「人と自然の共生 愛ふるタウン滑川」が進んでいることの表れであると思います。

さらに、市内に「健康づくり推進委員会」を立ち上げ、健康で長寿の町づくりに向けてもスタートいたしました。「健康づくり行動宣言」を皮切りに、地域での説明会の開催、将来を見据えた行動計画の策定、町民の皆様の健康増進と医療費の抑制につながる各種事業の選定を進めております。町民と地域、保健、医療、福祉が連携し、子ども、孫、その子どもへと末長く引き継がれ長い期間に渡って健康で長寿な滑川町に、福祉の金メダルを目指し勇往邁進して参りますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

本年も限られた財源ではありますが、道路交通環境の整備、子育て支援、高齢者支援などを重点に、町政のさらなる発展に全力で努めさせていただきます。

結びに、町民皆様の一層のご指導ご支援をお願い申し上げますとともに、ご健康とご活躍を心から祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。





# 明けましておめでとう



## 新年のご挨拶

滑川町議会議長 田 幡 宇 市

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年末には先行き不透明な中、衆議院の解散総選挙により、自民党が多数の票を集めました。景気が低迷する折、国政の停滞は町村の事業へも多大な影響を与えます。これからの国政においては先ず、国民の生活にどのような影響を与えるかを第一に優先して進めて欲しいと切に願っています。

三・一一の原発事故以来、町においても放射能の定点観測や、農産物等の放射能測定が可能な機器を、消費者庁より借り受け実施してきたところですが、この様な中、一部の農産物に基準値を超える数値が検出されたため、引き続き安全・安心な農産物を供給できるように検査を要望・実施しているところです。

また、市町村型合併浄化槽整備事業が十月に開始され、今年度の設置予定数を上回る申請があり、環境汚染に対する町民の高い関心がうかがえました。次年度以降も当該浄化槽整備を進展させ、環境浄化に向けて議会としても継続し努力を促して参りたいと思っております。

あの震災以来「絆」が世間では叫ばれています。縁あって「滑川町」と「宮城県松島町」が被災地支援を契機に新たな「絆」を結ぶことができました。昨年十一月三日の滑川まつりでは、特産品販売による支援や、今後に備えて「災害相互支援協定」を締結し相互支援を行うことで合意しました。松島町は日本三景の名所、観光の町で有名ですが、災害時のみならず、産業や文化の交流も多いに期待したいところであります。

2012年のロンドンオリンピックで、ボクシング競技金メダルの村田選手は「メダルを取れたことがゴールではなく、これからの人生金メダルに負けないうよう精進していきたいと思う」と言っていました。現状に満足せず、日々精進を重ねていくことで、より良い結果が付いてくるものと改めて感じ入っているところであります。

今後とも町と議会が車の両輪のごとく、各施策の有効性や将来的展望を精査し、チェック機能としての議会の役割と責務を果たして参りたいと存じます。

結びに、本年も町議会への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆様のご多幸を心よりご祈念いたしまして新年の挨拶いたします。

